

山梨県中小企業団体中央会機関誌
平成18年度中小企業組合活性化情報

12月1日(金曜日)
2006年 第599/177号(毎月1日発行) 定価100円
昭和36年4月10日 第三種郵便物認可

第三種郵便物認可 平成18年12月1日(金曜日)

紙面から

2面 県政功労者/施策情報/息吹
3面 景況情報/業界の声
4面 アクティブkumiai
5面 アクティブkumiai
6面 Hello!組合事務局
山梨県化粧品小売協同組合女性部
青年部県大会
7面 ジョブサポートだより/情報BOX
8面 ゴルフコンペ/全国ふるさとフェア
2007新春交流会案内

発行所 山梨県中小企業団体中央会
甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階
TEL 055(237)3215(代) FAX 055(237)3216
http://www.chuokai-yamanashi.or.jp
e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

11月の出来事

●時 事
1日 北朝鮮6カ国協議復帰を表明
2日 高校必修科目の履修不足問題、
政府が救済策決定
11日 ヴァンフォーレ甲府 J1残留を決める
●山梨県中央会ニュース
12日 中小企業団体親睦ゴルフコンペ
17日 正副会長会議・理事会
青年中央会県大会
28日 活力ある職場づくり推進運動県大会

12月の予定

5日 郡内地域組合研修会
28日 仕事納め

中小企業総決起大会の会場にて

平成18年度

山梨県中小企業

総決起大会開催される

山梨県中小企業総決起大会が、平成18年10月31日(火)甲府富士屋ホテルにおいて開催された。

中小企業総決起大会の冒頭「中小企業にとり重要な課題を抱えるとき、国、県に向かい中小企業の実態を訴え、その環境整備に力を注いでいただくと同時に、我々中小企業も自ら行うべき事は実践すること」と宮川中央会会長が力強く、開会宣言し挙行された。

当日は、山本栄彦山梨県知事の来賓を迎え、下記の大会宣言が採択され、本年度の決起大会の幹事である山梨県商工会連合会の竹井会長より、来賓の方々に要望書が中小企業の総意として手渡された。

要書内容

我が国経済は、全体としては景気回復基調にあり、デフレ脱却への展望も見え始めているが、一方で、大都市と地方、大企業と中小企業との間で格差がみられ、依然として景気低迷を訴える地域や中小企業からの声も多い状況にある。

また、原油価格や米価等海外経済の動向、ゼロ金利解除に伴う金利動向などの不安定要因も存在している。

我が国が現在、経済のグローバル化による競争激化、少子高齢化の進展、財政健全化問題など幾多の重要な課題に直面する中で、地域経済の活力の源泉である中小・小規模企業の競争力強化が図られれば、成長発展が遂げられなければならない。

「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006」にも示されている持続的かつ安定した経済成長を実現することとは出来ない。政府は、経済情勢に十分配慮した柔軟な政策運営を行い、挑戦する意欲と能力のある中小企業や地域が自らダイナミズムとバイタリティーを存分に発揮できる環境の整備を図るべきである。

山梨県においても地方分権が進展するなか、中小企業に活力を呼び戻し地方産業の再生と革新を図ることこそが、知事の提唱する美力・民力・創力を生かした創・甲斐プラン21の着実な実現を牽引するものであり、このためにも積極的且つ大胆な中小・小規模企業支援策を実施すべきである。これらのことから、我々は、地域経済社会の活性化と中小・小規模企業の活力増進のため、平成19年度国・県予算の拡充強化等、次の諸点について実現を図るよう強く要望をする。

1. 中小・小規模企業、連携組織対策予算の十分かつ安定的確保
1. まちづくり・地域産業振興策の充実・強化
1. 金融セーフティネットの整備・充実による中小企業への支援
1. 中小企業関係税制の是正・拡充

また、緊急動議として財団法人山梨県トラック協会より、下記の要望案件が提案され採択された。

開会宣言する宮川会長

力強いシュプレヒコール

緊急動議趣旨

我々トラック運送業界では、長期にわたる運賃の下落等により経営状況が誠に厳しい中、この原油高による燃料価格の高騰が、厳しい経営を強いられ自助努力も限界に至っており、平成15年3月から見ると、軽油価格が約50%値上がりし、燃料が占めるコスト度合いが他産業に比べ著しく高いトラック業界の経営状態は最悪であり、ここ数年間でかなりの数の廃業、休業に追い込まれている。

『トラックが止まれば暮らしは止まる』という最悪な状況に近づいている。引き続き我々も自助努力を、続けていくが、国、県においても、軽油価格高騰分の転嫁を含めた、運賃・料金適性収受について、トラック運送事業における最低運賃制の導入を含めた運賃制度の確立を強く望む。

県政功績者 組合関係者6名が受章

山梨県は、平成18年度の県政功績者55人と1団体を14日付けで発表した。産業分野は13人、組合関係者では6名が栄えある受章を受けた。



小林忠次氏
県木材協同組合連合会 副会長



前島善福氏
県ワイン酒造組合 会長



石倉定紹氏
元県トラック協会 理事
元同協会郡内 支部長



石部元章氏
山梨県中小企業団体中央会 理事
下部旅館振興協同組合 理事長
身延町商工会 副会長



小松義文氏
山梨県中小企業団体中央会 理事
山梨中央青果商業協同組合 理事長



窪田広宣氏
山梨県中小企業団体中央会 副会長
元県ジュエリー協会 理事長
元県水晶宝飾連合会 会長

地域団体商標制度がスタートしてから半年が経過し、経済産業省特許庁は10月27日、4月に出願された374件中52件について、商標登録をすべき旨の査定をし出願人に通知しました。これにより、今回登録査定を受けた地域団体商標については、査定の伝達があった日から30日以内に登録料の納付があれば、商標権の設定の登録が行われ商標権が発生することとなります。

地域団体商標制度とは

地域の名称及び商品（役務）の名称等からなる商標について、一定の範囲で周知となった場合には、事業協同組合等の団体が地域団体商標として登録することを認める制度です。

地域団体商標制度の目的

近年、特色ある地域づくりの一環として、地域の特産品等を他の地域のものとの差別化を図るために地域ブランド作りが全国的に盛んになっています。

このような地域ブランド化の取り組みでは、地域の特産品にその産地の地域名を付す等、地域名と商品名からなる商標が数多く用いられています。しかしながら、従来の商標法では、地域名と商品名からなる商標は、商標としての識別力を有しない、特定の者の独占になじまない等の理由により、図形と組み合わせられた場合や全国的な知名度を獲得した場合を除き、商標登録を受けることはできませんでした。

このため地域名と商品名からなる商標がより早い段階で商標登録を受けられるようにすることにより、地域ブランドの育成に資するため、平成17年の通常国会で「商標法の一部を改正する法律」が成立し、本年4月1日に同法が施行されました。

地域団体商標制度

10月26日現在、出願件数は605件あり高い関心を集めています。山梨県内では、「甲州手彫印象」、「甲州地どり」、「甲州小梅」、「やはたいも」、「南部の木」、「甲州牛」の6件が出願しています。

地域団体商標の登録要件

「地域名＋商品（役務）名」からなる商標であって、以下の要件に該当するものを地域団体商標として登録することができます。

- ①団体の適格性（組合であって構成員資格者の加入の自由があること
例：事業協同組合、農業協同組合）
- ②地域名と商品（役務）とが密接な関連性を有すること（商品の産地、役務の提供地、主要原材料の産地等）
- ③出願人が当該商標を使用したことにより出願人の商標として一定程度（例えば隣接都道府県に及ぶ程度）の周知性を獲得していること
- ④商標全体として商品（役務）の普通名称でないこと 等

地域団体商標権者の権利

- 指定商品（役務）について、登録商標を使用する権利を占有（25条）
- 類似商標の他人による使用等を排除（37条）
差止請求権、損害賠償請求権、刑事罰等
- 移転等の制限（24条の2）

お問い合わせ先

経済産業省特許庁審査業務部商標課
地域団体商標推進室長 間庭典之
課長補佐 矢澤一幸

電話 03-3581-1101(代)（内線2828）
03-3580-8012(直)

息吹

ibuki



「検定」あれこれ

巷では近頃、「検定」が流行ってます。インターネットには、検定ランキングなるものがあるほど人気があります。

辞書によると、「検定」とは、一定の基準に基づいて検査し、合格・不合格、等級などを決めることとあり、学生時代には、できることなら受けたくない、逃げ出したいと思われた方が多いかと思えます。

ところで、ヤフーの検定ランキング1位は、「日本人検定」であり、日本人としての常識度を問うものです。他には、「ドラクエ呪文検定」などのマニアックなものから、「血液型検定」など気楽に受けられるものまで、様々なものがあります。

一方、確かな知識を問い、有料で検定を行うものがあり、難易度の高いものとしては、「世界遺産検定」があります。公式教材の販売やセミナーの開催が行われており、検定料の一部は世界遺産の保全活動基金として寄付されています。その他にも、京都・観光検定、東京シティガイド検定など歴史・地理・風土などに関する知識を問うものがあります。

このような中、本県に関するものとしては、10月に第1回「富士山検定（3級）」が行われ、合格者は2月の2級検定、さらにその合格者は来年の1級検定を受験することができます。3級検定問題は、120問もあり、かなり難易度が高いものでした。

気軽なものとしては、1月から開催される「風林火山博」（県民情報プラザ特設会場）において、「挑戦！風林火山検定」（10問）が行われますので、挑戦することをおすすめします。これを機に、1人でも多くの県民の皆様が郷土の英雄「武田信玄」と信玄の時代を再認識する絶好の機会となることを切に期待します。

トピックス

■秋・冬物商戦は低調スタート

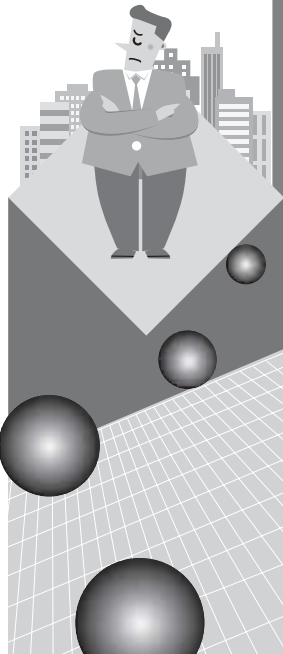
秋・冬商戦を控え、小売・サービス業では需要の増加が望まれているが、原材料高騰や気温の上昇等により売上が伸び悩んでいる。

●10月は紅葉見物の目的で観光客が増える時期であるが、東北地方が中心。富士五湖地方は11月が観光の本番となる。また富士五湖地方への修学旅行客は毎年減少傾向にあり、景気の上昇間は感じられず、客単価が下落。(宿泊業、観光シーズンが来たとは思えない、来客数、厳しい状況(宿泊業))

●クリスマス商戦が近づき、売上の増加が期待されたが消費の低迷と原材料料高の影響により売上が減少している。11月はジュエリー・ファクトリー・セールなどを実施し、需要が盛り上がることを期待。(金属製品卸売り)

●地金価格の水準が高いままで(昨年同月比1.3倍)生産数量が減少。クリスマス商戦に向けての動きも昨年度より活発が見られない。(貴金属製造)

●秋・冬物商戦が始まっているが、普段より活気がなく、共同での売り出しを行っても来街者が少ない状況(卸売業)



▶データから見た

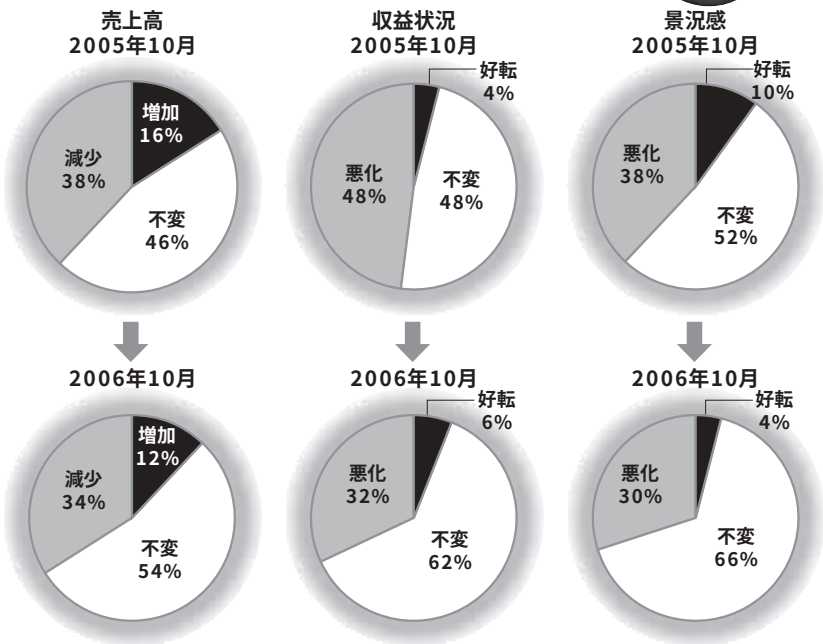
業界の動き

山梨県中小企業団体中央会

情報連絡員報告(平成18年9月分)

下記のグラフに示されている割合をDI値※により分析すると、収益状況は前年同月に比べて18ポイント増加、前月比でも4ポイント増加している。売上高は前年同月と変動は無いが、前月と比べると2ポイント増加している。また、景況感についても前年同月と比べて2ポイント増、前月と比べても6ポイント増加するなど持ち直しの動きが見えている。しかし、情報連絡員から寄せられた個々のコメントから全体の景気状況をみると、消費動向は低調で、さらに原材料高や原油価格の上昇に伴い収益率が悪化するなど、先行きの不透明さを訴える声が多い。

※DI値=((良数値÷対象数)×100)-((悪数値÷対象数)×100)



業界から一言

■県内景気・消費動向は低調
原油価格の再高騰への不安の声

●イベントなどへの参加を行い、業界振興を図っているが、世間で言われる景気回復の兆候が一向に現れていない感じがする。(ワイン製造)

●燃料費が少し下がったが、先行きの不安は払拭できない。(道路貨物運送業)

●「10月期は原油価格の大幅な下落と需要の低迷により元売り価格は前月比4円程度の値下げ予想が

されたが、今年1月～9月までのコスト上昇分を価格転嫁できていない各小売店は2円程度の値下げ。しかし原油価格の下落はまもなく終わり、再度上昇するものと思われる。」と分析、原油価格高騰の影響は長期化するものと予想される。(石油小売業)

●来店サイクルが長くなっている。(美容業)

●全般的に受注量が低調。ジャガード織りの紋紙を作る業者に仕事が入っていないので、低調なムードは当分続きそう。(織物製造)

●道路工事の減少が大きく

影響し、売上高の前年同月比△30%、各社資金繰りも悪化。今後の見通しも不透明。(砂利採取業)

●公共投資の減少により一部地域を除いて、土木関連工事が少なく、年度当初より7ヶ月連続で前年度を下まわっている。大変厳しい状況。(生コン製造)

●当月は退店者が多く、売上が減少。世間で言われているような好況の兆しは数字的には現れていない。(ショッピングセンター)

●公共工事が減少し、今後増加する見通しも無いため、廃業や業種転換の動きが増している。(総合建設業)

●受注の見通しが悪い(木造建築)

●県内の建設現場も増えて

いるが、型枠材であるコンパネの値上がり分を単価に上乗せできず、必然的に賃金のカットで吸収するような傾向にある。

●合板・パーティクルボード、接着剤、シンナー及び塗料などの原材料が値上がりしており、今後の不安材料となっている。(家具製造業)

●バルブや薬品などの原材料が昨年に比べ20%程度値上がりしている。(紙製造業)

●営業車の燃料費負担が大きい(飲食料卸売業)

●

●

業界の声

●協同組合山梨県鉄構工業会

専務理事 中込壹幸氏

厚生労働大臣表彰を受賞されたそうですが？

組合の山梨県鉄構認定職業訓練校(昭和57年開校)の訓練担当教務職員としてこの11月に表彰をいただきました。職業訓練校には、溶接技術・検査技術・クレールン操作など9学科があり、これまでの25年の受講学科数で延べ3千名が終了しています。

当組合の職業訓練校は、組合員の鉄骨工場のグレード認定制度と密接に結びついています。この工場認定制度は、工場の設備と従業員の溶接などの資格により、HからJまでの4グレードに分けられ施工できる物件の大きさが決められています。

従業員の資格取得がグレード認定と受注物件の大きさに結びつくため、業界の人材育成制度としての職業訓練校の役割は大きいと思います。

組合運営で心がけていることは？

「組合員への情報伝達をしっかりと行い、組合の運営を円滑にすること」を心がけています。

当組合では、月始めに3つの部会と3つの委員会と理事会が開催され、組合運営に必要な様々な事項が検討・決定されます。その結果をすべて議事録にして全組合員に郵送しています。その後、支部会が開かれ、組合の部会・委員会・理事会で決定したことが再確認され、実行に移されます。また、支部会が出された意見が、次回の部会・委員会・理事会にフィードバックされるというようなサイクルをとって組合運営がなされています。

全部の議事録を遅滞なく作るのは事務局として大変な作業ですが、組合の意志決定と運営を円滑にするためには必要なことだと考えています。

これからの鉄構業界は？

昨年の耐震偽装問題以降、建物の設計仕様書に鉄骨事業者の工場グレードが指定がされるようになってきています。組合員の経営の安定化のためには、これからも技術力を高める必要があり、組合としてもしっかりと支援をしていく必要があると思います。

中国人研修生の受入事業 第3期生スタート

ACTIVE KUMIAI



熱心に聞き入る研修生



抱負を語る研修生

山梨県アパレル工業組合（川手正紀理事長）は、第1、2期生に続き『外国人研修生共同受入事業』として、第3期生の受け入れをスタートさせた。第3期生となる今回は、中国江蘇省南通市からの研修生20名が来日、組合企業7社が受け入れ企業となり研修を行う。今回、11月6日に甲府市「甲府商工会議所」で行われた開講式では、研修生20名の自己紹介が行われ、これからスタートする日本での研修生活に對して、それぞれ研修生20名はしっかりとした日本語で抱負を語った。また、（財）国際研修協力機構の小林功治氏から研修生、受け入れ企業に對しての注意事項などの説明会も行われ、1ヶ月に渡って行われる座学研修をスタートさせた。



講師を行った金丸事務局長

研修生は日常生活や技術研修に必要な日本語の習得を中心に、日本の生活習慣、健康管理、日本の法律や安全などを集合研修で学んだ後、組合員企業で縫製技術の習得を2年間の技能実習生として行う。来年11月の技能検定合格後には中央会からも金丸事務局長が講師を務め、第11月15日には中央会からも金丸事務局長が講師を務め、第1部では①日本の中小企業について、②中小企業組合について説明を行い、第2部では異文化コミュニケーションをテーマに、中国と日本の文化の違いについて研修生との質疑応答・対話形式で行い、終始和やかな雰囲気となった。

富士吉田織物協同組合 TOPICS

「第25回富士吉田 産地総合織物展」を開催

ACTIVE KUMIAI



開会式での勝保理事長はじめ実行委員会のメンバー

部会、裏地部会、アト＆リビング部会、ネクタイ部会に分かれ、商品開発力を発揮し、新しい素材や加工技術を活かした裏地、ネクタイ、インテリア、婦人服、アトやオリジナリティーあふれる服飾雑貨など約300点を出品した。会場では良質で高付加価値の出品品に熱心に見入る来場者の姿がところどころで見られ、数多くの引き合いがあり、各ブースで商談が行われる中、特に婦人服、富士山グッズ、ほぐし織り、ネクタイに注目が集まっていた。また、アト＆リビング部会では11月22日から25日に東京ビッグサイトで行われた展示会にも出展し、広く一般の来場者にも好評を得ていた。毎年趣向を凝らし好評を得ているこのイベントは、全国への販路開拓および織物産地・富士吉田の格好のPRの場となっており、今後も産地ブランド『ふじやま織』の確立とイメージアップにつとめていきたいと考えている。



魅力ある展示アイテムが数多く揃った

富士吉田織物協同組合（勝保美理事長）は、去る10月24日、25日の2日間、東京・北青山のテレビア・エキジビションホールにて「富士吉田産地総合織物展」を開催した。今年で25回目を迎えたこのイベントは生産地から発信する新しい枠組みによる素材作りを提案して行こうという趣旨のもと、富士吉田市長、中央会宮川会長ら来賓を招き、関東圏を中心に全国のアパレル業界の業者、関係者約350社を集めて行われた。統一テーマに沿って、組合の市内織物業者23社が服地の市、商品開発力を発揮し、新しい素材や加工技術を活かした裏地、ネクタイ、インテリア、婦人服、アトやオリジナリティーあふれる服飾雑貨など約300点を出品した。会場では良質で高付加価値の出品品に熱心に見入る来場者の姿がところどころで見られ、数多くの引き合いがあり、各ブースで商談が行われる中、特に婦人服、富士山グッズ、ほぐし織り、ネクタイに注目が集まっていた。また、アト＆リビング部会では11月22日から25日に東京ビッグサイトで行われた展示会にも出展し、広く一般の来場者にも好評を得ていた。毎年趣向を凝らし好評を得ているこのイベントは、全国への販路開拓および織物産地・富士吉田の格好のPRの場となっており、今後も産地ブランド『ふじやま織』の確立とイメージアップにつとめていきたいと考えている。

TOPICS 社団法人山梨県自動車整備振興会 山梨県自動車整備商工組合

整備技術の向上と安全・安心な 自動車社会を目指して

ACTIVE KUMIAI



真剣に競技に挑む各選手



優勝した甲府南支部チーム

社団法人山梨県自動車整備振興会／山梨県自動車整備商工組合（荻原公明会長／理事長）は、10月28日、組合施設内において、第16回山梨県自動車整備技能競技大会を開催した。この大会は自動車整備士の技能について適正な評価を行うことにより一層の技能向上を促し、職責に誇りと励みを与え、さらに一般に對して自動車整備業界に對する理解と認識を高め、自動車の安全性の確保、環境保全への寄与などを目的に開催されているもの。当日は県下18支部の各組合員企業から選りすぐられた整備士（選手）チーム13組が、エンジン各部の計測や点検作業、電気系統の断線検査や法定12ヶ月点検の確実性など決められた課題に取り組んだ。優勝チームは来年秋に開催される全国大会に山梨県代表として出場する。

- 優勝 甲府南支部 荻原輝彦、望月太郎（㈱オートサービス車検センター）
- 準優勝 甲府北支部 井出錠治、長田義久（山梨交通㈱甲府整備工場）
- 3位 南アルプス支部 樋泉政徳（樋泉自動車）、津久井求（津久井モータース）

第50回ジェムストーンフェア in KOFU 第19回宝石研磨石創作デザインコンテスト

ACTIVE KUMIAI

山梨県宝石研磨工業協同組合(小田切富男理事長)は、11月1日・2日の両日、中巨摩郡昭和町のアピオにおいて、第50回ジェムストーンフェア in KOFUを開催した。

このフェアは、ジュエリーメーカーやデザイナーを対象とした、宝飾品の素材となる宝石や貴石などの見本市で、組合員や協賛企業37社が出展した。50回目となる今回はフェアに参加していない組合員も含めた組合員全員をパネルで紹介するコーナーや組合と友好協定を結んでいる「ドイツ貴石ダイアモンド工業協同組合」を紹介するドイツ展などのイベントも開催された。

山梨の研磨技術は、江戸時代から続く伝統技術にそれぞれの時代の創意工夫を積み重ね、現在に至っており、全国の宝飾品の3分の1を生産する産地の中で、その宝飾品に使われる宝石や貴石をこの宝石研磨業界が担っている。ジェムストーンフェアは、研磨組合の組合員の販売促進を目的に、昭和55年9月の組合創立とともに、第1回研磨新作見本市を開催して以来26年を経過し、素材提供者の見本市として定着し、県内外から多くの業界関係者を集めている。

また、併せて第19回宝石研磨石創作デザインコンテスト表彰式が開催され、山梨県知事賞、山梨県中小企業団体中央会長賞など入賞作品22点が表彰され、フェア会場に展示された。このコンテストは、宝石ニーズの多様化に合わせるために、自由な発想によるジュエリーカットや貴石を使用した宝飾作品を募集したもので、組合員や関連企業のほか、県立宝石美術専門学校などの学生などからも応募があった。



テープカットを行う関係者の皆さん



会場風景

組合員の拠点を みんなでリフォーム

ACTIVE KUMIAI



看板まで含めて新装なった組合事務所と手伝ってくれた組合員

山梨県板金工業組合(宮川長光理事長 組合員86名)では、10月22日の日曜日に組合員のボランティアにより、組合事務所のリフォーム工事を行った。当日は秋の好天にも恵まれ、朝の10時から午後3時までかけ、組合員15人が屋根の板金工事やベンキの塗り替え作業などに手分けで取り組んだ。

組合は昨年6月に、それまでの賃貸マンションから組合員が石和町に所有していた空き事務所を事務局を移転。広い駐車場と会議室もある事務所になったことで、理事会や研修会、青年部の会合などと様々に使える事務所となった。

組合員の拠点として広くて便利な事務所を持ったことが組合員の気持ちにも前向きな影響を与え、この度、ボランティアを募ってリフォームに取り組みこととなった。看板やポストなどは組合員からの寄付、屋根材は板金メーカーからの無償提供もあり、経費をかけずに立派な改修工事となった。

宮川理事長は、「独立事務所を持ったことで組合員が立ち寄り易くなり、組合員間や役員間の意志疎通も円滑になった。会議や研修会も予約や終了時間を気にしないで使えるので、組合の活性化にも効果을上げていく。今後は組合活動の一層の充実を図り、板金業界の全国大会を開催できるくらいまでに、団結力を高めたい」と希望を語ってくれた。



手分けでリフォーム作業に取り組む組合員



TOPICS 山梨県中小建設業協同組合

「夢ハウス」 ～自然素材を使って安全・安心・健康で 長持ちする家づくりを～

ACTIVE KUMIAI

特色ある家づくりをめざしている山梨県中小建設業協同組合(高野愛治郎理事長)は、このたび(株)夢ハウスとビジネスパートナー契約を結び、「夢ハウス」の展開をしていくこととなった。

「夢ハウス」とは、天然無垢材などの自然素材を住宅の構造材をはじめ壁・天井・床・建具・家具に至るまで使用するにより、自然と調和した安全・安心・健康で長持ちする家づくりを提案するものである。

「夢ハウス」の内容は以下の通り。

- ①特許を取得している「天然無垢材の乾燥」により、くるといや割れがほとんど生じない強い建材を実現。
- ②工業的な人工材料を極力使っていないため、シックハウスの原因となる有害物質を抑制。
- ③冬でも素足で歩ける保温効果や、わらかく弾力性があり転んでもケガをしにくい、さわ心地がよい、紫外線吸収により目や肌を守る、音を和らげる、通気性に優れ調湿効果がある、空気清浄効果、防カビ、防虫効果など天然木材の特質性。
- ④天然木から発散されるフィトンチッドという物質による集材材や合板にはない安心感や癒しなどの森林浴効果。
- ⑤山林の買付、伐採から製材、プレカット、パネル加工までの一貫生産システム、一貫品質管理により中間マージンや木造建築の技術コストを大幅にカットでき、低価格での供給を実現。

以上。

組合は、去る11月11日、12日には小瀬スポーツ公園で行われた「夢ハウス」を中心とした住宅フェアに出展し、

「夢ハウス」を中心にPRを行った。展示では自然素材の建材、実物の床などを使って人工素材との違いを体感できる体験コーナーや構造システムの説明会、住まいづくりの相談会を行い、2日間で50組の引き合いがあった。

組合ではこれからも組合員の受注拡大のために、新しい取り組みに目を向けていきたいと考えている。夢ハウスや住まいづくりについてのご相談は組合まで。



好評を博した住宅フェアでの展示



「夢ハウス」の本格和風住宅

地域密着で親しみやすい店舗づくりを目指します。



甲府市東部の小売業者による地元主導型のショッピングセンター「バリオ」。
甲府市東南部の商圏のお客様に親しまれているこのショッピングセンターの
管理・運営を行っているのがイーストモール協同組合である。
今回は事務局の丸山部長にお話を伺いました。

イーストモール協同組合

事務局 総務部長：丸山秀木さん

設立／昭和62年5月1日
所在地／甲府市朝気3-1-12
理事長／櫻林幸男
組合員数／7人 職員数／10人
出資金／2,220千円
TEL／055-235-4411
FAX／055-237-2077



組合事務局

Hello!

Q 組合の活動は？

ショッピングセンター「バリオ」の管理・運営を行っています。販売促進のためのセールやイベント企画、実施などの共同宣伝事業や建物の営繕や貸しホールなどの施設管理、経営者従業員向けの教育研修事業などを行っています。

Q 事務局ではどんな仕事をしていますか？

組合運営の一般事務、テナントの売上管理など経理事務、各種販促イベントの企画運営、ホールの貸出管理などを行っています。

Q 事務局として心がけていることは？

組合設立当初よりショッピングセンターは地元主導、地域密着を掲げています。最近が高齢層のお客様も多く見られるので親しみやすい接客での差別化をテナント一丸となつて徹底しています。

Q 事務局で嬉しかったことは？

ポイントカード事業の会員が順調に伸びており、根付いてきていると感じられることです。また、最近ではクレームが減ってきており、前述の接客姿勢の浸透と顧客満足が感じられます。

Q 事務局で困っていることは？

宣伝手法がマンネリ化していると感じられますが、なかなか効果的な販促方法が浮かびません。

Q 趣味は？

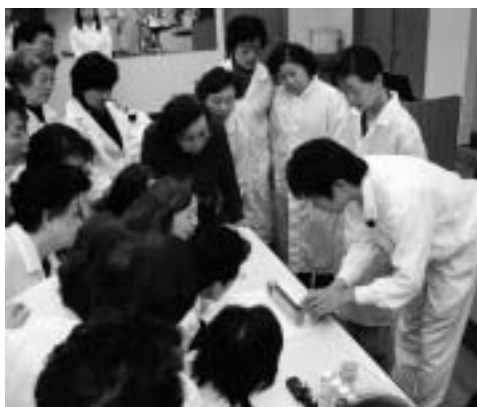
休日には子供と一緒に広場でキャッチボールやサッカーをしており、家族と一緒にできるだけ体を動かすようにしています。またゴルフはストレス・運動不足の解消のためにやっており、練習場や年数回ですがコースにも出ています。

Q 最後にひとこと

12月14日から24日迄の期間、店舗をイルミネーションで飾って「クリスマス抽選会」を行います。特等として5万円のバリオのお買い物券が当たるイベントですのでぜひお越し下さい。また新年は1月2日から初売りを行います。組合ではこれからもお客様に新しい生活を提案するとともに、効果的なテナント誘致やそれぞれのテナントの魅力づくりのバックアップを行い、今まで以上に地域住民に愛され、魅力あるショッピングセンターづくりを目指していきます。

山梨県化粧品小売協同組合女性部

美肌づくりは笑顔から



成分の説明をする研究員

山梨県化粧品小売協同組合女性部（藤田綾子部長）は、中央会の「組合女性部研究会事業」の助成を活用して、平成18年11月7日に視察研修会を開催した。華やかでモダンなイメージにあふれる化粧品業界だが、再販制度の全廃と消費者ニーズの多様化により年々価格競争が激化し、消費者は従来のような対面販売に頼らない、より安価で多彩なセルフ販売の化粧品を求めるようになり、品ぞろえ豊富な大型店に流れるようになった。そこで、「美肌づくりは笑顔から」と題し、資生堂鎌倉工場、かまくら工房において製造過程から品質基準に基づいた原料の品質チェックや検査、製品の知識や技術講習会を行った。

今も昔も女性達の「美」へのこだわりは変わらない。特に、スキンケアなどについては成分や効能などの知識が接客に繋ぎを握っているため、参加者はみな真剣な面持ちで研修を行った。

「モノづくりの原点が、お客さまの喜びなら、私たちは、お客さまを笑顔に変えていきたい。」などの感想が寄せられた。また、身近な化粧品の一つ「口紅づくり」の体験も併せて行われた。



「口紅づくり」を体験中

山梨県中小企業団体青年中央会

平成18年度

青年部県大会開催

平成18年11月17日（金）「アピオ甲府」において、平成18年度中小企業青年部県大会が開催された。本大会



山梨県産業文化研究所 代表 坂本 宏氏



印傳屋上原勇七 代表取締役社長 上原重樹氏



タクト 専務取締役 堀内 信氏

は、山梨県中小企業団体中央会と山梨県中小企業団体青年中央会（初鹿武仁会長）との共催により約60人の出席者を集めて講演会・事例発表等が行われた。講演会では、山梨県産業文化研究所代表の坂本宏氏が「これまでの山梨、これからの山梨」をテーマに、山梨県経済の歴史及び地政学上の特徴について武田信玄等の戦国武将などを例にとつて講演を行うとともに、青年中央会に期待することとして、研究施設が多く置かれている東京・三多摩地区等との交流の活発化や産学官連携の推進などが要望された。

引き続き行われた事例紹介では、当県から全国



アピオで行われた講演会

に向けて事業を展開している企業の代表として、上原重樹氏（印傳屋上原勇七代表取締役社長）、企業間連携を行い事業の拡大を目指す企業の代表として、堀内信氏（タクト専務取締役）が、それぞれ発表を行い、県内企業が今後どのような形で生き残りをかけていくのかについて事例を示していた。

また、異業種交流を目的に行われた交流会では、3分間スピーチと題した発表が任

ジョブサポートだより

団塊の世代

『1960年代の「若者の反乱」は、戦争直後に生まれた人口の膨らみが通り過ぎる嵐であった。かつてハイティーンと呼ばれ、ヤングといわれた、この「団塊の世代」は、過去においてそうであったように、将来においても数々の流行と需要を作り、過当競争と過剰施設とを残しつつ、年老いていくことである。』

■**堺** 屋太一氏が1976年に発表したオムニバス形式の経済小説「団塊の世代」の書き出しである。団塊の世代という言葉は世に送り出した小説となった。「2007年度から問題」で、団塊の言葉が再燃している世代だが、30年前といえ彼らが27〜30歳の働き盛りの時代だ。その彼らが中高年に達したとき、実際に起こりそうな事例を物語で展開した。第一話「与機待果」は、成果の上がらぬ事業に閑居したエリートサラリーマンの悲哀を、第二話「3日間の反乱」では、結局は組織にしがみついていたかなければならないサラリーマンの性(さ)を描いた。以下、後半の第三話「ミドル・バーゲンセール」は銀行のスリム化に直面したミドル層の苦悩を、第四話「民族の秋」では、中年エリート官僚と若手の意識のギャップを扱った。

■**今**、30年前の未来小説を読み返したとき、この時代を過ごしてきた準団塊の世代には、現実を描いたようで万感の思いを禁じえない。叫ばれているとおり、2007年から団塊の世代の大量離職が始まる。片や、現実には日本は人口減少社会に転換している。これによって、社会にはどのような影響があるのだろうか。退職金や年金にゆとりのある団塊の世代が社会を変えるとの期待がある。一方、団塊の世代が消費に回せる可処分所得は意外と少ないとして、退職後のライフプランの難しさを指摘する声もある。また、経済の回復に伴う若年者不足に、団塊の世代が労働力として対応するには職種や技術・技能のミスマッチをいかに解消するかも考えどころだ。

■**堺** 屋氏は、去る9月24日の某局の番組の中で、この小説の中の二つは当たっていたと言いつつ、誰しも未来を知りたい気持ちをもっている。今後も予測が可能ならば、堺屋氏には再度、向こう10年間の近未来の経済予測と共に、その社会で生きる団塊の世代の姿を描き出して欲しいものだ。

山梨県中小企業団体中央会
(求職活動援助事業推進室)
ジョブサポートやまなし



情報BOX

●高齢者を自ら教育し、活用してみませんか。

シニアワークプログラムのご案内

おおむね55歳以上65歳未満の就職希望者に、必要な技能講習を実施したのち、雇用が行える業界団体を募集しています。

シニアワークプログラム事業は、高齢者の就職に向けた「技能講習会」を開催し、講習修了者と企業との「合同面接会」の開催によって、就職の促進を図るもので、平成18年度は、「タクシー乗務員」、「フォークリフト運転者」、「警備業務員」などの養成コースを開催しています。

事業実施の要件は、

「技能講習会」の講師は、業界団体等から派遣していただきます。

「合同説明会」へは、業界団体等の構成企業で求人募集を行っている企業に参加していただきます。

「技能講習会」及び「合同説明会」の開催に伴う費用は、山梨県シルバー人材センター連合会が予算の範囲内において負担します。

お申込・お問い合わせ

山梨県中小企業団体中央会 労働課 Tel.055-237-3215

●山梨県電機商業組合からのご案内

2006 デジタル家電・電化まつり 開催中

山梨県電機商業組合(奥石和泉理事長)は、恒例の電化まつりを11月1日から12月末日まで開催している。

期間中2万円以上お買いあげのお客様に抽選で600名に、味覚の王様ムツ湾の「活ホタテ貝」をプレゼント。

家電の買換えをお考えの皆様、是非、お近くの組合加盟の電気店をご利用下さい。



お問い合わせ 山梨県電機商業組合 Tel.055-275-6470

この街と生きていく。

みんなのために、ひとりのために

しんきん
バンク

Face to Face
信用金庫

甲府信用金庫
(055-222-0231)

山梨信用金庫
(055-235-0311)

ATM
全国19,000台

しんきんキャッシュカードなら、全国どここのしんきんATMでも、平日・土曜のご利用手数料が無料になりました。

ワリショー／リッショーワイドは
元金安全、確定利回りの貯蓄です。



吹石一恵

ワリショー

◎確定利回り ◎元金安全 ◎税率18% ◎1万円単位

リッショーワイド

◎5年満期◎確定利回り◎半年複利◎元金安全◎1万円単位

商工中金 甲府支店

〒400-0032 甲府市中央1-6-16
TEL 055-233-1161



走る理由がある。

私達は走り続けなければなりません。現在トラックによる運送は国内のほぼ9割を占め、豊かな暮らしを物流の面から支えています。トラックが止まってしまうことは、人の体の血液が止まってしまうこと。街から品物や人々の笑顔が消えてしまうことの無いように、私達は今日も走り続けているのです。そして同時に環境問題についてもアイドリングストップ運動の早期からの実践など、素晴らしい自然を次代に引き継いでゆくために、業界をあげて一早く取り組んでいます。

現在トラック業界は、相次ぐ規制による負担増や燃料価格の急騰により厳しい経営環境にあります。しかし私達は、運賃の適正化を呼びかけるなどの具体的なアクションをおこし、これを必死で乗り越えようとしています。かけがえない自然と笑い声のあふれる暮らしを守るため、私達のチャレンジはこれからも続きます。

運ぼう未来へ 豊かな自然と環境を



山梨県トラック協会(環境保全対策委員会)・(社)全日本トラック協会・後援/山梨県 関東運輸局山梨運輸支局

社団法人 山梨県トラック協会
山梨県トラック事業協同組合

TEL 055-262-5561

2007

中小企業団体 新春交流会



参加費お一人様
2,000円

平成19年
1月6日（土）10:30～
アイメッセ山梨
（甲府市大津町）

記念講演
講師 山田 法胤 氏
演題 経営のこころと佛の教え

編集後記

2006年もあっという間…残り1ヶ月となりました。毎年のこの時期になると1年を振り返り、やり残したことがあるかどうか思い出せば「まだ1ヶ月ある、頑張ろう!」と自分に言い聞かせます。読者の皆さんはいかがですか？

ご意見・ご要望は、中小企業タイムズ編集班までお寄せ下さい。

TEL 055-237-3215 FAX 055-237-3216
E-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

親睦ゴルフコンペを開催

山梨県中小企業団体中央会



【団体戦】
優勝 山梨県燃糸工業組合
準優勝 山梨県水晶美術彫刻協同組合

【個人戦】
優勝 東福寺正一（山梨県冷凍空調設備事業協同組合）
準優勝 藤巻 軍二（山梨生コンクリート協同組合）

中央会は、11月12日、笛吹市「ウッドストックカントリークラブ」において、中小企業団体の親睦と交流を図るため、第37回県下中小企業団体親睦ゴルフコンペを開催した。

当日は、会員をはじめとして120名の参加者があり、風が吹く肌寒い中、新ベリア方式による団体戦、個人戦を行い、日頃のゴルフの腕を競い、鋭気を養っていた。

なお、団体戦、個人戦の主な成績は次のとおり。



団体戦優勝の山梨県燃糸工業組合

全国ふるさとフェア2006へ出展



ソムリエによるワインの説明

紅葉情報など山梨県の観光PRを行ったところ、非常に好評であり、これをきっかけに1人でも多くの観光客が本県に訪れることが期待される。

同フェアは、11月4（土）・5日（日）の両日、横浜・赤レンガ倉庫イベント広場において、文明開化発祥の地・横浜から「全国の郷土や食文化を広く一般に情報発信しよう」という主旨のもと、観光誘致、地元の活性化、地元の文化・郷土の紹介、特産品の販売・PRに寄与することを目的に開催された。

当日は、天候に恵まれ、20万人を超える来場者があり、本会観光事業部は、山梨県ワイン酒造協同組合（中央葡萄酒（株）、マズワイン（株）、敷島醸造（株）、アルプスワイン（株））及び山梨県食品工業団地協同組合（（株）かいや）の協力を得て、試飲試食販売を行い、千人を超える来場者に山梨の味を味わっていただくことができた。また、記念品とともに旅館組合のパンフレット、

やる気と潜在能力のある 中小企業応援します

YAMANASHI GUARANTEE



山梨県信用保証協会

本店 甲府市飯田二丁目2-1
TEL (055) 235-9700(代)

富士吉田支店 富士吉田市下吉田1832
TEL (0555) 22-0992

山梨県中小企業団体中央会が推進する
安い掛金で 大きな安心

自動車共済

24時間事故受付で、緊急連絡にそなえて万全の事故処理体制をとっています。万一の事故のときは、顧問弁護士や専門職員が示談交渉にあたり、解決するまで協力します。

関東自動車共済協同組合
山梨県支部

〒400-0035 甲府市飯田4-4-2 自動車共済ビル
TEL 055-237-8331(代)

好評取扱中！

☆“けんみんしんくみ”の定期積金 ☆

“けんみんしんくみ”で

100万円 貯めてみませんか！

ご契約例

期間	毎月の掛金	お受取金額
2年(24回)	42,000円	(1,008,000円＋お利息)
3年(36回)	28,000円	(1,008,000円＋お利息)
5年(60回)	17,000円	(1,020,000円＋お利息)

その他、事業性資金のご融資についてもお気軽にご相談ください。

であい、ふれあい

YKS 山梨県民信用組合

本部
甲府市相生1丁目2-34
055-228-5151

くわしくは、本・支店の窓口または担当者にご相談ください